

事前協議申請書添付図書一覧

提出部数 14部(正1部、副13部)

※あらかじめ事業内容に関連する協議主管課と協議・調整の上、書類を作成してください。

☑	No.	添 付 書 類	説 明 及 び 明 示 す る 事 項 等
☐	1	事前協議申請書	
☐	2	委任状	代理人による申請の場合添付。受任者の住所を記載すること
☐	3	位置図	都市計画図。方位、縮尺、開発区域の位置(朱囲い) ※カラーで印刷(おけがわインフラマップ可)
☐	4	案内図	住宅地図等。方位、縮尺、開発区域の位置(朱囲い)
☐	5	土地登記事項証明書	
☐	6	建物登記事項証明書	※既存建築物がある場合
☐	7	公図写し	開発区域の境界(朱囲い)、必要に応じて申請地及び周囲の土地所有者、地積及び地目を記入
☐	8	求積図(実測図)	方位、縮尺、面積計算表、用途地域が複数またがる場合には、別途用途地域ごとの求積図を添付、座標法または数値三斜法による ※周長は小数点第3位(mm単位)まで表記 ※分譲住宅等の場合には、区画ごとに作成(用途地域がまたがる場合には、別途区画別に用途地域ごとの求積図を添付)
☐	9	現況図	方位、縮尺、開発区域の境界(朱囲い)、道路幅員、BM位置及び高さ、土地の利用状況(更地・畑等の別、建築物等がある場合は記載)、現況地盤高および隣地の高さ
☐	10	土地利用計画図	方位、縮尺、開発区域の境界(朱囲い)、擁壁・CB積等の寸法・段数・位置(外・内・芯積みの別)及び範囲、開発に伴い整備する公共公益施設の位置及び形状(排水:青色等で着色、公園等:緑色で着色)、開発区域に接する道路【国県市道等の別、道路番号、幅員(幅員4m未満の場合は建築基準法第42条2項道路か法外道路かの別を明示)】、予定建築物等の配置及び用途、樹木及び緑樹帯の位置、道路側溝のサイズ、用途地域のライン(用途地域が跨る場合)、都市計画道路予定ライン(該当する場合) ※周長は小数点第3位(mm単位)まで表記 ※切土・盛土が無く、整地程度である場合、その旨を記載
☐	11	造成計画平面図	方位、縮尺、開発区域の境界(朱囲い)、切土(黄)又は盛土(茶)をする土地の色分け、擁壁・CB積等の寸法・段数・位置(外・内・芯積みの別)及び範囲、開発道路の位置・形状・幅員延長及び勾配、BM位置(何をBMとしているか記載)及び高さ、縦横断面線の位置及び符号並びに交点の計画高、予定建築物の配置、用途、切土・盛土を行う面積及び高さ ※切土・盛土が無く、整地程度である場合は作成不要
☐	12	造成計画断面図	縮尺、現況地盤高(細線)及び計画高(太線で記入し各ブロックの計画高を併せて記入)、切土(黄)又は盛土(茶)をする土地の色分け、縦横断面線の符号、法面勾配、擁壁・CB積等の工作物 ※切土・盛土が無く、整地程度である場合は作成不要
☐	13	道路・排水施設の計画縦断面図	縮尺、測点、単距離、追加距離、地盤高、計画高、勾配、DL(基準線)、人孔の記号種類、位置、管径、土被り、管底高等 ※道路を新設する場合
☐	14	道路横断面図	縮尺、路盤・基層・表層の構成、道路側溝の位置、形状及び寸法、埋設管の位置、形状及び寸法 ※道路を新設する場合
☐	15	排水施設計画平面図	方位、縮尺、開発区域の境界(朱囲い)、排水施設の位置、種類、口径、管径、勾配延長及び流れ方向並びに吐口の位置及び放流先の名称、凡例 ※排水経路:青色等で着色。汚水排水管の1スパンの延長は、管径の120倍以内 ※情報過多とならないようであれば、可能な限り土地利用計画図に統合すること
☐	16	給水施設計画平面図	方位、縮尺、給水施設の位置、管径、取水方法等、消火栓の位置 ※情報過多とならないようであれば、可能な限り土地利用計画図に統合すること
☐	17	擁壁・CB積等の断面図、構造計算書	縮尺、擁壁・CB積等の構造、寸法、配筋サイズ・ピッチ等
☐	18	雨水樹等の構造図	浸透樹、最終樹と放流先の接続断面図
☐	19	汚水樹・合併浄化槽等の構造図	インバート樹、合併浄化槽の構造図及び型式適合認定書、最終樹と放流先の接続断面図
☐	20	雨水排水流出抑制処理計算書	処理能力の根拠を提示すること 雨水浸透施設については、雨水処理能力が判断できるもの(カタログの写し等)及び雨水計算に必要な屋根面積、舗装面積等を算出したものを添付
☐	21	予定建築物設計図	平面図、立面図 ※一戸建て専用住宅は不要
☐	22	緑化計画図	求積図、植栽計画を記入
☐	23	公共公益施設等計画図	公園、消防水利施設、交通安全施設、ごみ集積所等の求積図・構造図
☐	24	給水施設に関する協議済証の写し	給水施設について桶川北本水道企業団と協議した旨の書類